

事業評価シート

番号 0660070 - 001

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ協会運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
実施期間	昭和22年度～	年度	根拠法令 関連計画※	スポーツ基本法第34条	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市スポーツ協会は、市内各スポーツ競技団体を統括する唯一の団体であり、体育・スポーツの普及・振興を図り、市民の体力向上とスポーツ精神を養うことを目的として設立された団体であるためこの運営を補助する。				
事業の内容	各種目競技市民スポーツ大会やスポーツ功労者等表彰事業など、その運営にかかる人件費等の補助				
事業の対象	何を	運営補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ協会			
	どのくらい (具体的数値で)	事務局費及び事業費にて加盟42団体の運営費、大会費等を令和元年度決算額で16,801,143円提供(本事業補助率:31.0%、本事業補助額:5,200,000円、補助対象経費:5,240,538円)			
令和元年度 (実施内容)	市民スポーツ大会の開催 31競技種目 市スポーツ協会表彰式 スポーツ功労者 8名、最優秀選手 25名、優秀選手 16名 最優秀チーム 6チーム、優秀チーム 3チーム				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,170	100	3,400	100
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,170	100	3,400	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		5,200	5,200	5,200
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	大会費	2,089	2,135	2,039
	事務局費	746	913	814
	運営費	760	760	760
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		5,200	5,200	5,200

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	8,370	8,370	8,600

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	8,370	8,370	8,600

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	種目協会及び協会登録者	種目協会及び協会登録者	種目協会及び協会登録者
受益者数	27,892	25,610	24,694
受益者負担額(千円)	190	190	190
受益者負担率(%)	2.3%	2.3%	2.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	300	327	348

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	協会登録者	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	40,000	40,000	40,000
実績値	27,892	25,610	24,694

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市民スポーツ大会参加者	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	20,000	20,000	20,000
実績値	12,118	12,427	11,703

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	スポーツを通じて、競技力及び体力の向上に貢献し、健康増進のみならず、明るく豊かな生活を望む市民のニーズに叶っている。 岐阜市スポーツ界の代表的な協会である。 国・県・地区にも上部団体がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	各競技団体の協会登録者は、競技役員、指導者(コーチ等)及び選手と広範囲に効果が及んでいる。 市民スポーツ大会の参加者も大変多く効率的である。 (令和元年度は、2月から雪不足や新型コロナ感染防止のため一部中止)
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	岐阜市スポーツ協会主催で各競技の市民スポーツ大会を多数実施し、市民の競技力アップの動機づけとなっている。また、生涯を通じてスポーツに親しんでいくという「生涯スポーツの振興」は、市民の健康維持にも効果的な方策となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	競技団体へは、一律2万円の協会運営費を公平に補助している。 市民スポーツ大会を開催している競技団体に対しては市民大会開催補助を加算しており、適正であると考察します。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	岐阜市スポーツ協会の活動を通して、競技力アップ、生涯スポーツの普及、市民の健康維持に貢献しているため

事業評価シート

番号 | 0660070 _ 002

【1.基本情報】

事業名	市民総合スポーツ大会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいつくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐阜市スポーツ協会	
実施期間	昭和22 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	スポーツ基本法第23条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民のスポーツ振興とスポーツに親しむことにより、体力の向上や健康の増進のみならず、明るく豊かな生活や生きがいつくりを図る。				
事業の内容	体育の日(10月10日)を中心とする期間に各競技種目において、総合スポーツ大会を開催する。				
事業の対象	何を	市民総合スポーツ大会			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	30競技			
令和元年度 (実施内容)	10月の体育の日を中心として、概ね前後1か月を目処に、市民が参加できる30競技の大会を開催。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	317	10	317	10	340	10
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	317	10	317	10	340	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		1,752	1,758	1,744
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	審判報酬	1,212	1,224	1,228
	消耗品	122	136	131
	会場使用料	159	154	145
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		1,752	1,758	1,744

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,069	2,075	2,084

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,069	2,075	2,084

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	14,314	14,373	13,278
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	145	144	157

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	競技種目数	単位	種目
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	30	30	30
実績値	30	30	30

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市民総合スポーツ大会参加者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	20,000	20,000	20,000
実績値	14,314	14,373	13,278

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	実施競技種目数も多く、気軽に参加できる生涯スポーツの大会を実施している。 市民に広く競技スポーツを実施する民間団体はなく、市が担当が、大会運営に於いては、各競技団体のスキル及びノウハウが必要である。(運営役員・審判の手配、試合の組合せ等)
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	国、県もそれぞれ競技スポーツの大会を開催しているが、市民が気軽に参加できるわけではない。対して本大会は、参加者自身が市における競技レベルを測るのに効果がある。 岐阜市が岐阜市スポーツ協会に委託している。それぞれの大会運営は、岐阜市スポーツ協会に加盟する各競技団体が行っており、現行が最も効率的であると考えている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	大会を体育の日近辺で実施するよう、期間を限定しているので、毎年、岐阜新聞と中日新聞にある程度まとめて掲載され、出場者や保護者である市民の注目も高く、参加者のスポーツに対するモチベーションアップに効果がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	大会役員の人数を根拠とし、また、会場費は8割と一定部分を補助している。 経費が多くかかる種目は、個人負担するなど各競技協会に対応している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	予算を大幅に増やせるのであれば、市スポーツ協会加盟団体で未実施の競技や、加盟団体以外の競技をどうするか、検討の余地がある。

事業評価シート

番号 0660070 - 003

【1.基本情報】

事業名	岐阜県民スポーツ大会派遣補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいつくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
実施期間	昭和24 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜県民スポーツ大会は、広く県民のスポーツを振興し、その普及発達とアマチュアスポーツ精神を高揚して、競技力向上並びに県民の健康増進・体力の向上を図り、健康で明るい「生涯スポーツ社会」を築くことを目的としており、選手派遣に費用を補助する。				
事業の内容	地区予選及び夏秋季大会41競技、冬季大会2競技にわたり郡市対抗競技に選手を派遣する。				
事業の対象	何を	派遣に要する経費の一部を			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ協会を通じて参加者に			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助金交付要綱に定める金額			
令和元年度 (実施内容)	本選の夏秋季大会は岐阜地区で開催し32競技298人、冬季大会は高山市・恵那市で開催し2競技23人、岐阜地区予選のみ251人の計572人の参加者に対し補助した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	951	30	951	30	1,020	30
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	951	30	951	30	1,020	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		885	1,744	937
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	交通費	369	1,186	150
	参加料	232	229	228
	昼食代	276	301	375
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		885	1,744	937

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,836	2,695	1,957

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,836	2,695	1,957

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜県民スポーツ大会参加者	岐阜県民スポーツ大会参加者	岐阜県民スポーツ大会参加者
受益者数	582	572	572
受益者負担額(千円)	186	196	175
受益者負担率(%)	10.1%	7.3%	8.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,155	4,712	3,421

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	岐阜県民スポーツ大会参加団体	単位	団体
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	38	37	37
実績値	35	34	34

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	岐阜県民スポーツ大会参加者	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	675	675	675
実績値	582	572	572

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	県内における各団体の競技力を測る大会である。 県民スポーツ大会は郡市対抗の大会であり、岐阜市が選手団を派遣するもので、民間では、実施できない。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市選手団は、各団体を通じて選出し、効率的である。 市町村ごとの参加区分であり、広域連携できないものである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	岐阜県民スポーツ大会に出場するため、各競技団体で選手選考の大会を開催するなど、単に参加するだけでなく、競技力向上の効果が得られるものである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	派遣補助金の交通費は市条例の半額支給とし、選手も受益者負担をしている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	岐阜県下、全市町村が出場する大会である。現状維持とする。

事業評価シート

番号 0660070 - 004

【1.基本情報】

事業名	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会
実施期間	平成23 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	全国からランナーが集まるマラソン大会であり、競技力の向上及び市民のスポーツ振興に寄与することを目的として開催している	
事業の内容	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会(岐阜県・岐阜市・中日新聞社・岐阜陸上競技協会・岐阜県スポーツ協会)が主催し、ハーフマラソン及び3kmが行われ、約1万人のランナーが市内を走る大会である。	
事業の対象	何を	開催負担金
	誰に (対象者・対象者数)	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会、市民、参加者
	どのくらい (具体的 数値で)	マラソン大会(ハーフマラソン、3km)、負担金6,000,000円
令和元年度 (実施内容)	4月28日(日)に開催し約11,200人が出走した。 負担金6,000,000円	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	9,193	290	9,193	290	9,860	290
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	9,193	290	9,193	290	9,860	290

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		6,000	6,000	6,000
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	6,000	6,000	6,000
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		6,000	6,000	6,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	15,193	15,193	15,860

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	15,193	15,193	15,860

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	11,524	11,296	11,213
受益者負担額(千円)	77,665	83,374	81,084
受益者負担率(%)	511.2%	548.8%	511.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,318	1,345	1,414

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	参加者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	10,000	10,000	10,000
実績値	11,524	11,296	11,213

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	沿道応援人数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	90,000	90,000	90,000
実績値	110,000	100,000	90,000

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	世界のトップランナーと約1万人の市民ランナーが走る大会である。また、沿道での応援も多く、市民のスポーツ振興に寄与している。 岐阜市で開催される大会で、市が運営する規模として適正であると考える。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	例年、募集人数を上回るエントリーがあり、約1万人の市民ランナーの競技力向上やスポーツ振興が図られているため、費用対効果は高い。 実行委員会(中日新聞、岐阜県、岐阜市、岐阜陸上競技協会、岐阜県スポーツ協会)の各団体がそれぞれ業務分担し必要な業務を行っていることに加え、沿道自治会や民間ボランティアも活用しており効率的な方法で実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	毎年申込がすぐ定員に達するなど、参加者の満足度は高く、また、応援者、ボランティアの方々の満足度も高く有効性は高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市の中心部での事業ということで市民は参加しやすく、また参加しない市民にも世界のトップランナーの走りを感じ取れる機会を提供しており、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	競技スポーツ、生涯スポーツの両方の観点を兼ね備えた大会であり、スポーツ振興に大きく寄与しているため、現状維持

事業評価シート

番号 0660070 005

【1.基本情報】

事業名	各種体育大会派遣補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
実施期間	昭和24年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	各種国際大会や全国大会に参加することにより、グローバルな市民育成、国際親善に寄与するとともに競技力向上をはかるため。				
事業の内容	国際大会全国大会、その他の大会に出場する選手を支援するために、補助金を交付する。				
事業の対象	何を	派遣補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	<ul style="list-style-type: none"> 市内に在住、在勤、若しくは在学する者又は本市出身者で、国際大会に出場する選手。 市内に在住又は本市に所在する小中学校に在学する者で、全国大会に出場する選手。 			
	どのくらい (具体的 数値で)	①オリンピック等 国外50,000円 ②オリンピック等 国内25,000円 ③その他の国際大会 国外30,000円 ④その他の国際大会 国内15,000円 ⑤全国大会 宿泊あり15,000円 ⑥全国大会 宿泊なし 5,000円			
令和元年度 (実施内容)	上記の①から⑥に内訳は「①0人 ②0人 ③16人 ④2人 ⑤241人 ⑥8人」であった。補助金の合計金額は4,165,000円であった。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		6,125	5,215	4,165
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	オリンピック・アジア大会	0	2	0
	国際大会	27	21	18
	小中全国大会	397	314	249
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		6,125	5,215	4,165

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	6,157	5,247	4,199

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	6,157	5,247	4,199

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	大会出場者	大会出場者	大会出場者
受益者数	424	337	267
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	14,521	15,569	15,727

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	大会件数	単位	件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	90	90	90
実績値	113	96	67

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	大会出場者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	300	300	300
実績値	424	337	267

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	国際大会、全国大会への出場等にかかる費用の負担を軽減することは、高い水準で競技を続けるために必要不可欠なものである。 岐阜市の選手を補助するのは岐阜市に縁のある者が行うべきと考えられ、民間には補助事業は難しいことから岐阜市が取り組むのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	国際大会や、全国大会等高い水準で開かれる大会に出場するトップアスリートを支援するとは岐阜市のスポーツ振興、競技力向上に寄与している。 岐阜市の選手を補助するのは岐阜市に縁のある者が行うべきと考えられ、民間には補助事業は難しいことから岐阜市が取り組むのが妥当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	競技に多少の偏りはあるものの、令和元年度ではのべ267人の国際大会、全国大会出場者の負担を軽減することができている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	競技により大会数、出場資格が多少なりに異なり補助金をもらえる競技とももらえない競技に差がでてしまう。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	力のある選手を補助し、スポーツの振興、競技力の向上に寄与しているため。

事業評価シート

番号 0660070 - 006

【1.基本情報】

事業名	各種スポーツ大会開催事業補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	各主催団体
実施期間	昭和56 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	国際大会、全国大会その他のスポーツ大会の円滑な運営を図るため	
事業の内容	国際大会、全国大会その他のスポーツ大会が円滑に運営されるよう支援するために、大会を主催するものに補助金を交付する。	
事業の対象	何を	開催補助金
	誰に (対象者・対象者数)	国際大会、全国大会その他のスポーツ大会を主催するもの
	どのくらい (具体的 数値で)	当該事業に対して岐阜県が交付する補助金の2分の1の額を上限とする額。
令和元年度 (実施内容)	全日本ジュニアビームライフル射撃競技大会 日本学生陸上競技対校選手権大会	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	95	3	95	3	204	6
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	95	3	95	3	204	6

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		250	250	650
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	ジュニアビームライフル	250	250	250
	日本学生陸上	0	0	400
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		250	250	650

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	345	345	854

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	345	345	854

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	各種大会主催団体	各種大会主催団体	各種大会主催団体
受益者数	1	1	2
受益者負担額(千円)	57	527	6,072
受益者負担率(%)	16.5%	152.7%	711.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	345,100	345,100	427,000

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	大会実施数	単位	団体
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3	3	3
実績値	1	1	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	大会参加者	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	600	600	83,100
実績値	396	388	33,551

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	国際大会、全国大会その他のスポーツ大会が円滑に運営されるよう支援が必要。 県と同時に岐阜市も併せて支援することによって、国際大会、全国大会その他のスポーツ大会が本市で行われることが期待できる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜県が交付する補助金の2分の1の額を上限とする。 現行の方法(上段に記載の方法)が最も効率的と考える。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	全国から多くの選手、役員などが参加し、応援団を含む観客も全国から来岐され、宿泊及び観光などに於いて効果は得られたと思われる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	岐阜県スポーツイベント振興補助金交付要綱を基準としており公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	全国大会が岐阜市で開催されることで、技術の高い競技に触れることが出来る。 全国から集まった選手へ、岐阜観光コンベンション協会のパンフレットを配布するなど、岐阜市のPR、活性化に繋がっている。

事業評価シート

番号 0660070 - 007

【1.基本情報】

事業名	新春ぎふシティマラソン大会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐阜市スポーツ協会	
実施期間	昭和25年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	昭和25年の越年マラソン大会に始まり、過去には高橋尚子さんが出場し優勝している歴史深い大会であり、市民が気軽に参加できるマラソン大会として継続すべき事業である。	
事業の内容	年齢・性別などに分けて、マラソン6部門、車椅子マラソンの部、親子ジョギングの部を行う。	
事業の対象	何を	マラソン大会
	誰に (対象者・対象者数)	小学生以上の健康な市民(車椅子の方も可)
	どのくらい (具体的 数値で)	年齢・性別などに分けて、マラソン6部門、車椅子マラソンの部、親子ジョギングの部を行う。
令和元年度 (実施内容)	8部門を開催し、744人が参加した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,585	50	1,585	50	1,700	50
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	1,585	50	1,585	50	1,700	50

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		1,363	1,362	1,365
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	役員報酬	359	331	345
	事業用品費	460	299	271
	印刷製本費	165	157	161
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		1,363	1,362	1,365

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,948	2,947	3,065

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,948	2,947	3,065

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	694	757	744
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,248	3,893	4,120

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	申込人数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1,250	1,250	1,250
実績値	1,182	923	897

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者人数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1,000	1,000	1,000
実績値	694	757	744

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	歴史深く、市民に親しまれている大会であり、市民の健康意識を高める良い機会となっている。 市民を対象とした大会で、市が運営する規模として適正であると考えます。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	参加費無料・適切なコース設定によって身近で誰もが気軽に参加できる大会となっている。 岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会や岐阜市スポーツ指導員連絡協議会、高校生補助員などの協力を得ながら実施しており、完全な民営化は難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	東京オリンピック・パラリンピックの開催や働き方改革により市民の健康意識が高まる中で、普段気軽に経験することができないシティマラソンを通じて、市民の健康づくりの一翼を担っている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	参加費が無料であるため、市民の誰もが気軽に参加できる大会として定着している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	歴史深く、市民に親しまれている大会であり、市民の健康意識を高める良い機会となっているため、現状維持により継続していくことが望ましい。

事業評価シート

番号 0660070 - 008

【1.基本情報】

事業名	中学校運動部活動強化事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市
実施期間	平成 26 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	運動部が「夢」や「志」をもって部活動に取り組める環境の充実を図り、一人でも多くの選手がさらに上の大会を目指し羽ばたいていけることを目的としている。				
事業の内容	中学校運動部活動に対し、合宿・遠征等の強化を目的とした活動の際に必要な経費を補助する。				
事業の対象	何を	中学校運動部活動強化補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	運動部が設置されている岐阜市立中学校及び特別支援学校中学部で設立された運動部活動強化プロジェクト委員会			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助対象経費の2分の1の額。ただし補助額の上限は200,000円			
令和元年度 (実施内容)	参加校数9校、補助金の合計金額は1,026,369円であった。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	95	3	95	3	102	3
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	95	3	95	3	102	3

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		1,442	848	1,026
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	中学校補助金	1,442	848	1,026
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		1,442	848	1,026

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,537	943	1,128

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,537	943	1,128

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	運動部活動強化プロジェクト委員会	運動部活動強化プロジェクト委員会	運動部活動強化プロジェクト委員会
受益者数	11	9	9
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	139,736	104,789	125,333

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	本事業の案内	単位	校
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	22	22	22
実績値	22	22	22

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	本事業を活用した校数	単位	校
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	14	12	9
実績値	11	9	9

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	働き方改革により土日両日の部活動が行われなくなり、合宿などができなくなり本事業の補助金を申請する学校は減ったが、遠征や強化練習など継続して申請する学校もあった。 市内の市立中学校運動部活動を対象とした補助のため、岐阜市で行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	合宿や遠征でかかった費用の半額を負担することで中学校の負担が少なくなるので、合宿や遠征に行きやすくなる。 -
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	活用した中学校から全国大会に出場した選手が出るなど効果はあると考える。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内の市立中学校運動部活動に呼びかけ、機会を設けている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	合宿での申請は減ったが、遠征や強化練習などの申請は継続して申請する学校が多かった。従って、事業は現状を維持しつつ継続していくことが望ましいと考える。

事業評価シート

番号 0660070 - 009

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ少年団本部運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市スポーツ少年団本部
実施期間	昭和41 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	スポーツ基本法第34条	

【2.事業概要】

事業の目的	各小学校単位にあるスポーツ少年団の統括団体である岐阜市スポーツ少年団本部運営を補助する。岐阜市スポーツ少年団本部はスポーツのもつ教育的な機能を活かし、スポーツ活動を通じた青少年の健全育成及び交流を目的として設立された団体であり、岐阜市の少年スポーツ活動の中核的役割を果たしている。				
事業の内容	リーダー研修会、市スポーツ少年団大会、スポーツ少年団表彰、スタートコーチ養成講習会(開催未定)等各種本部事業及びその運営にかかる費用の補助				
事業の対象	何を	運営補助金の交付 事務局員業務			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ少年団本部			
	どのくらい (具体的 数値で)	運営補助金	1,375,000円	事務局員	260人 8,216,000円
令和元年度 (実施内容)	市スポーツ少年団事務(年間)、総会、認定員養成講習会(2日間2回)、スポーツ少年団大会(9種目)、リーダー研修会(1泊2日)、表彰式、認定員研修会の実施				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	8,242	260	8,242	260	8,840	260
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	8,242	260	8,242	260	8,840	260

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		1,375	1,375	1,375
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	1,375	1,375	1,375
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		1,375	1,375	1,375

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	9,617	9,617	10,215

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	9,617	9,617	10,215

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	スポーツ少年団団員、指導者	スポーツ少年団団員、指導者	スポーツ少年団団員、指導者
受益者数	4,766	4,624	4,379
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,018	2,080	2,333

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	スポーツ少年団加入率		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	20	20	20
実績値	16.4	16.4	16.0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	団員数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	4,100	4,100	4,000
実績値	3,414	3,296	3,271

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市内各小学校等で小学生のスポーツ活動の場を提供しているスポーツ少年団の岐阜市本部である。 指導者、リーダーの研修、市大会等開催のため、必要である。 国、県、地区に上部団体がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市内3,271名(令和元年度)の団員がスポーツ少年団活動を行い、団員の心と体を育む。 -
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市内各小学校等で小学生のスポーツ活動の場を提供し、また指導者、リーダー候補団員への研修、大会、表彰を行っており、有効性は高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市内の小学生はすべて単位団に加入する権利をもっており、市内の単位団すべてに対しての指導者研修課、リーダー研修会、各種目大会、表彰を行っており公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	スポーツ少年団は子どもたちにスポーツの楽しさを伝えること、スポーツを通して心と体を育てること、スポーツを通じて人々をつなぎ、地域づくりに貢献することを理念として活動している。 現代の世の中足りない重要なことを子どもたちに与えてくれるものであり、必要である。

事業評価シート

番号 0660070 - 010

【1.基本情報】

事業名	スポーツリーダー活用事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成25年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	スポーツリーダー等を学校行事やスポーツ教室等へ派遣し、直接話を聞いたり指導を受けたりすることのできる機会づくりを支援することを通して、子どもをはじめとする市民に夢や希望をもたせ、運動・スポーツを積極的に行おうとする意欲と実践的態度をはぐくみ、体力の維持・向上を図る。				
事業の内容	各団体へ国体で活躍したスポーツ選手や県体協スポーツリーダーバンクに登録している指導者等を派遣し、講話や実技指導の機会をもつ。				
事業の対象	何を	指導者への謝金			
	誰に (対象者・対象者数)	市内小中学校、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、岐阜市体育館等			
	どのくらい (具体的数値で)	1団体10回を上限とする			
令和元年度 (実施内容)	指導者を149人派遣した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	95	3	95	3	544	16
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	95	3	95	3	544	16

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		714	768	894
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	FC岐阜	324	354	492
	その他の指導者	390	414	402
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		714	768	894

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	809	863	1,438

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	809	863	1,438

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市内の団体	市内の団体	市の団体
受益者数	2,359	3,278	3,453
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	343	263	416

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	市内団体への案内		団体
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	125	125	125
実績値	125	125	125

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	指導者派遣数		人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	110	110	110
実績値	119	128	149

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	優秀な指導者から指導をしてもらえる機会をつくるという点 が有益である。 岐阜市民に対する事業なので市で行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	各団体は無料で優秀な指導者から指導されるので費用対効果 は高いと考える。 -
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	FC岐阜と連携を図りサッカー教室などをしており、毎年多くの 団体から申し込みが来ている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市内の各団体(市内の全小・中学校、特別支援学校、スポーツ 少年団、総合型地域スポーツクラブ、岐阜市体育館等)に呼び かけ、機会を設けている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状 維持	今後も多くの申し込みが見込まれ、また岐阜市で支援している チーム(サッカー:FC岐阜、バスケット:GIFU SWOOPS、バレー:JAぎふ リオーナ)との連携を図りながら教室を開講することも検討してい るため現状維持。

事業評価シート

番号 0660070 - 011

【1.基本情報】

事業名	岐阜市学童水泳記録会		
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード 1 - 5 - 0 - 0
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体 岐阜市スポーツ協会
実施期間	昭和38 年度～	年度	根拠法令 関連計画※ 岐阜市スポーツ推進計画

【2.事業概要】

事業の目的	市内の小学校5・6年生を対象に、水泳競技に対する関心を高め、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることを目的とする。		
事業の内容	4種類の泳法のうち希望する種目の記録を測定する。なお、各学校1チームによるリレーも行う。		
事業の対象	何を	水泳記録会	
	誰に (対象者・対象者数)	市内小学5・6年生の児童	
	どのくらい (具体的 数値で)	1日(午前・午後) 種目:自由形、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、200mリレー	
令和元年度 (実施内容)	7月29日(月)に長良川スイミングプラザにおいて開催し、市内小学5・6年生、379名が参加した。		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	539	17	349	11	408	12
嘱託職員	0		10	1	0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	539	17	359	12	408	12

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		450	463	562
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	役員謝金	170	187	183
	事業費	110	120	228
	印刷製本費	90	93	91
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		450	463	562

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	989	822	970

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	989	822	970

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	記録会参加者	記録会参加者	記録会参加者
受益者数	468	411	379
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,113	2,000	2,559

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	市内5・6年生児童7%の参加	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	475	469	470
実績値	468	411	379

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市内5・6年生児童の参加率	単位	% (人)
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	7.0(475)	7.0(469)	7.0(470)
実績値	6.9(468)	6.1(411)	5.6(379)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	スポーツの関心を高め、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることができる良い機会である。 市内の小学5・6年生を対象とした大会で、市が運営する規模として適正であると考えている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	参加費無料のため、水泳に興味のある小学5・6年生が気軽に参加できる大会となっている。 岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会や、岐阜市小学校体育主任会、岐阜市水泳協会などの協力を得ながら実施しているため、完全な民間化は難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	東京オリンピック・パラリンピックの開催や働き方改革により市民の健康意識が高まる中で、普段気軽に経験することができないシティマラソンを通じて、市民の健康づくりの一翼を担っている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	参加費無料で水泳記録会に参加できるという点で、受益者にとって有益であり、適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	水泳に興味のある小学5・6年生が気軽に参加できる大会であるため、現状維持により継続していくことが望ましい。

事業評価シート

番号 0660070 012

【1.基本情報】

事業名	岐阜市学童陸上記録会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐阜市スポーツ協会	
実施期間	昭和38 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	市内の小学校5・6年生を対象に、陸上競技に対する関心を高め、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることを目的とする。	
事業の内容	走る・跳ぶ・投げるの3競技のうち希望する競技の記録を測定する。 なお、学校別リレーも行う。	
事業の対象	何を	陸上記録会
	誰に (対象者・対象者数)	市内小学5・6年生の児童
	どのくらい (具体的 数値で)	1日間、種目100m走、走り幅跳び、ソフトボール投げ、400mリレー
令和元年度 (実施内容)	市内の学童を対象に、陸上への関心と記録向上への意欲を高め、体力や運動能力の向上をめざすとともに、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることを目的に開催。 市内の小学校5・6年生の児童 605名が参加。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	95	3	317	10	340	10
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	95	3	317	10	340	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		900	900	900
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	役員謝金	0	288	289
	事業消耗品費	15	191	106
	プログラム印刷費	207	145	148
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		900	900	900

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	995	1,217	1,240

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	995	1,217	1,240

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	記録会参加者	記録会参加者	記録会参加者
受益者数	0(中止)	688	605
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)		1,769	2,050

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	陸上記録会への案内		校
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	54	54	54
実績値	54	54	54

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市内5, 6年生児童の参加率		% (人)
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	15.0(1,020)	15.0(1,004)	15.0(1,029)
実績値	0(中止)	10.3(688)	8.8(605)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	スポーツの関心を高め、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることができる良い機会である。 市内の小学5・6年生を対象とした大会で、市が運営する規模として適正であるとする。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	参加費無料のため、陸上に興味のある小学5・6年生が気軽に参加できる大会となっている。 岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会や岐阜市小学校長会、岐阜市陸上協会などの協力を得ながら実施しているため、すべてを民間化するの難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	陸上競技に対して興味を持ってもらうことができたため。また東京オリンピック・パラリンピックに向けて今まで以上に陸上競技に興味を持ってもらえるとする。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	参加費無料で陸上記録会に参加できるという点で受益者にとって有益であり、適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	陸上に興味のある小学5・6年生が気軽に参加できる大会であるため、現状を維持しつつ継続していくことが望ましいと考える。

事業評価シート

番号 0660070 013

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会
実施期間	昭和42 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	生涯スポーツ、地域スポーツの推進を目的に、コミュニティづくり及び多世代が集うスポーツの場を展開できるよう研究及び実施する				
事業の内容	協議会の運営費を補助する。市内全50地域に2名のスポーツ推進委員を配置し、地域のスポーツ振興が充実・発展するよう企画や運営を行う。委員は研修会等に参加し、地域スポーツの研究も行う。また、市の事業にも協力していただく。				
事業の対象	何を	運営費補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会、(市民、参加者)			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助金:450,000円 (全体研修会(3回/年)、生涯スポーツ大会の実施、全国・岐阜地区等の研修会への参加等)			
令和元年度 (実施内容)	補助金:450,000円 全体研修会(3回)、ソフティバレーボール大会、ふらばーるバレーボール大会、各ブロック等での軽スポーツなどを実施。また、全国・東海四県・岐阜地区研修会への参加				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	2,536	80	2,536	80	2,720	80
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	2,536	80	2,536	80	2,720	80

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		450	450	450
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	450	450	450
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		450	450	450

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,986	2,986	3,170

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,986	2,986	3,170

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)
受益者数	3,600	3,600	3,400
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	829	829	932

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	事業開催回数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	15	15	15
実績値	20	19	18

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3,000	3,000	3,000
実績値	3,600	3,600	3,400

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民が気軽に参加できる生涯スポーツ大会等を実施しており、参加者も3,000人を超えている。 岐阜市の非常勤公務員であるスポーツ推進委員の協議会であり、国・県・地区にも上部団体がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	幅広い世代の市民が参加できる生涯スポーツ大会等の実施により、市民のスポーツ振興に寄与するものであるため、費用対効果は高い。 公益性のある事業を企画、実施する協議会の運営費を一部補助するものであり、民間活用等は難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	様々な生涯スポーツ大会等を実施により、幅広い世代の市民が気軽に運動できる環境を提供することで、岐阜市のスポーツ振興に寄与している。また、研修会等の実施、参加により、スポーツ推進委員自身の資質向上に努め、市民に還元できている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	委員は、市内各自治会50地域から各2名ずつ選出され、各地域において体育振興会等と協力し、スポーツの推進を図っている。また、市のスポーツ事業運営への協力により、多くの市民へのサービス提供が行われているため、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	生涯スポーツの推進に寄与しているため、現状維持

事業評価シート

番号 0660070 014

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会
実施期間	昭和55 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市スポーツ教室、ジュニアスポーツクラブ等指導者の資質向上のため、岐阜市スポーツ指導員連絡協議会の運営を補助する。				
事業の内容	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会事務局事務、全体研修会(2回)実施、総会の実施、指導者の派遣依頼対応、市イベントへの協力				
事業の対象	何を	運営補助金 事務局事務			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会			
	どのくらい (具体的 数値で)	運営補助金 52,000円 事務局事務 50人 1,580,000円			
令和元年度 (実施内容)	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会事務局事務、全体研修会(2回)実施、総会の実施、指導者の派遣依頼対応、市イベントへの協力				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,585	50	1,585	50	1,700	50
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	1,585	50	1,585	50	1,700	50

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		52	52	52
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	52	52	52
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		52	52	52

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,637	1,637	1,752

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,637	1,637	1,752

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者
受益者数	7,000	7,000	7,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	234	234	250

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	研修会の実施		回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	2	2	2
実績値	2	2	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	スポーツ教室等受講者、イベント参加者		人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	7,000	7,000	7,000
実績値	7,000	7,000	7,000

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	体育館スポーツ教室、ジュニアスポーツクラブ等指導者への研修会を実施しており、指導者としての資質向上のために必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市独自の事業であるため広域では出来ない。 また業務量、業務期間(業務量は少ないが年間を通して事務局事務がある)から見ると、委託よりは職員が行うことが効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	日本スポーツ協会等指導者資格をお持ちでない、スポーツ教室等の指導者に向け、指導者としての資質向上のための研修をしており、スポーツ教室等の質を向上させている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	研修会等を受ける指導者は市のスポーツ教室、ジュニアスポーツクラブ等の指導者をされている方が多く、またそれらの教室等は市民すべてに受講する資格があるため、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市のスポーツ教室等指導者の資質の維持、向上のため必要である。

事業評価シート

番号 0660070 015

【1.基本情報】

事業名	「FC岐阜」連携推進				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	(株)岐阜フットボールクラブ	
実施期間	平成21年度～	年度	根拠法令 関連計画※	スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	市民に夢と感動を与え、市民の一体感を醸成するプロスポーツチームの活動を、市民の文化として支え育むとともに、これを活かして市民スポーツの推進を図ります				
事業の内容	1、FC岐阜活用事業運営業務委託 ・ホームタウンデー市民交流推進事業、シティプロモーション事業 2、FC岐阜スポーツキャラバン運営業務委託事業 ・キャラバン教室、岐阜市スポーツ交流センター活用交流事業				
事業の対象	何を	FC岐阜を活かした市民スポーツ推進活動			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	ホームタウンデー:1回 ・スーパーシート:7試合 ・シティプロモーション:2回 ・キャラバン教室:140回 ・交流センター活用交流事業:47回			
令和元年度 (実施内容)	ホームタウンデー:1回 ・スーパーシート:7試合 ・シティプロモーション:2回 ・キャラバン教室:140回 ・交流センター活用交流事業:46回 実施した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	539	17	380	12	476	14
嘱託職員	10	1	10	1	0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	549	18	391	13	476	14

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		25,000	25,000	24,959
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	FC岐阜活用事業	19,600	18,700	18,000
	FC岐阜スポーツキャラバン	5,400	6,300	6,959
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		25,000	25,000	24,959

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	25,549	25,391	25,435

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	25,549	25,391	25,435

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,000	410,000	410,000
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	62	62	62

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	ホームタウンデーチラシ配布	単位	枚
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	54,000	54,000	54,000
実績値	54,000	54,000	54,000

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	ホームタウンデー来場者数(岐阜市民のみ)	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3,500	3,500	3,500
実績値	6,052	3,310	2,784

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民がトップスポーツの試合を「観る」ためにFC岐阜を活用することは、試合観戦者の実績値からも、スポーツの推進を図るという点でニーズに合っている。 FC岐阜を活かしてスポーツ推進活動をするために、岐阜市に在住、在勤、在学の方がトップスポーツの試合を「観る」ことは、市で行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民には無料でホームゲームを観ることで、スポーツ推進活動を促進、家族の絆を高揚、外食、公共交通機関の利用等の費用対効果が高いと考える。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	ホームタウンデーでは悪天候の中、多くの市民の方が来場されたり、スーパーシートやキャラバン教室など当選人数・施設を大幅に超える申し込みがあったりすることから、非常に効果があると考えます。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	岐阜市に在住、在勤、在学する全ての方を対象とし、機会を与えている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	来場者数の実績値から見ても、多くの方に需要があるので現状維持で行う必要がある。

事業評価シート

番号 0660070 - 016

【1.基本情報】

事業名	地域体育振興事業補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	各地域体育振興会等
実施期間	昭和40 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市体育振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	市内50地域の体育振興会が行う市民の健康増進及び相互交流のための事業に対し補助を行う。	
事業の内容	各地域で行う事業(グラウンドゴルフ大会、市民運動会)の対し補助金を交付する。	
事業の対象	何を	運営補助金
	誰に (対象者・対象者数)	市内50地域の体育振興会が行う市民の健康増進及び相互交流のための事業に対し補助を行う。
	どのくらい (具体的 数値で)	各地域 34,500円～39,900円(世帯数による)
令和元年度 (実施内容)	市内44団体に運営補助金を交付	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	951	30	951	30	1,020	30
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	951	30	951	30	1,020	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		1,767	1,762	1,657
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	1,767	1,762	1,657
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		1,767	1,762	1,657

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,718	2,713	2,677

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,718	2,713	2,677

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市内各世帯	市内各世帯	市内各世帯
受益者数	165,443	165,443	165,443
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	16	16	16

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金案内送付地域数	単位	地域
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	50	50	50
実績値	50	50	50

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	補助金交付地域数	単位	地域
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	50	50	50
実績値	47	47	44

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の健康増進及び相互交流のため必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市内各50地域の体育振興会が各地域に合った事業を自主的に行い、市がその資金の一部を補助しており効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	44地域の体育振興会から申請があり、各地域でスポーツイベントを実施した。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市内全50地域(全市民)を対象としており公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民の健康増進及び相互交流のため有効で継続していくことがよいと考えられる。

事業評価シート

番号 0660070 - 017

【1.基本情報】

事業名	強化指定選手事業				
担当部署	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	ぎふ魅力づくり推進部
実施期間	平成26 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市体育振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市が指定する将来有望な強化選手に対して支援をすることにより、オリンピック・パラリンピック出場を目指すアスリートのスポーツに取り組む環境を整える。				
事業の内容	岐阜市出身、在住の選手で東京オリンピック・パラリンピック出場が見込める有望な選手に対して補助金を交付する				
事業の対象	何を	強化指定補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市出身、在住の選手で東京オリンピック・パラリンピック出場が見込める選手12名			
	どのくらい (具体的数値で)	1人あたり300,000円を上限			
令和元年度 (実施内容)	・今井 月選手(競泳) 福島 由紀選手(バドミントン)・廣田 彩花選手(バドミントン) ・鈴木 健太(フェンシング)・辻 すみれ選手(フェンシング)・清水 綾乃選手(ライフル) ・松原 梨恵選手(新体操) ・笹岡 建介選手(スケートボード)・小澤 大選手(ラグビー) ・篠原 貴史選手(障害者水泳) ・渡邊 翔太郎選手(自転車)・橋本 英也選手(自転車) 以上12名を指定				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	1,020	30
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	1,020	30

(2)物にかかるコスト

		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		2,879	2,847	3,496
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	2,879	2,847	3,496
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		2,879	2,847	3,496

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,911	2,879	4,516

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,911	2,879	4,516

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	指定選手	指定選手	指定選手
受益者数	10	10	12
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	291,070	287,870	376,333

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	指定人数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	10	10	12
実績値	10	10	12

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	オリンピック出場者	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	0	0	0
実績値	0	0	0

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	オリンピックが近づき、スポーツへの関心が高まる中、岐阜市縁の選手の出場を補助することは、岐阜市全体の活力を生み出すことにつながる。 岐阜市縁の選手を補助する故に、市に縁のある者がすべきであるし、補助事業を民間で行うことは難しいと思われる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	予算に限りがあるため、1人あたり300,000円ではあるが、強化指定選手に指定されたという自負が選手にも生まれ、競技に対する意識の向上につながる。 競技ごと、選手ごとに競技力の向上に必要な備品、消耗品は異なり、対応するためには補助金の支給が一番効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	平成28年に強化指定された選手8名のうち、4名がリオオリンピックに出場し、1名が金メダルを獲得するという結果を残し、岐阜市全体の活力高揚を感じることができた。この調子で東京オリンピック・パラリンピックでも多くの選手が出場、活躍し、市民の活力が向上することを見込んでいる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	強化指定選手の選考には、岐阜市の各競技協会等とスポーツ有識者等による検討を重ねた上で決定され、公平性には問題はないと思われる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	東京2020オリンピック・パラリンピックが1年程度の延期となったため、現状維持。

事業評価シート

番号 0660070 018

【1.基本情報】

事業名	国際インラインスケート岐阜長良川大会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	インラインスケート岐阜長良川大会実行委員会
実施期間	平成6 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	インラインスケートというユニークな種目の総合大会であり、岐阜市の観光資源を全国にアピールし、ヤングファミリーなど新しいタイプの観光客誘致を図る。国際コンベンション都市にふさわしい大会にすることを目的にスタートする。				
事業の内容	インラインスケート岐阜長良川大会実行委員会(岐阜市、岐阜県インラインスケート協会など)が主催し、長良川公園にてロードレースとインラインホッケーが行われ、全国から選手が集まる大会である。				
事業の対象	何を	国際インラインスケート岐阜長良川大会			
	誰に (対象者・対象者数)	全国のインラインスケート愛好者			
	どのくらい (具体的 数値で)	大会の開催期間は1日、競技数2種目及び関連イベントの実施			
令和元年度 (実施内容)	11月10日に第25回国際インラインスケート岐阜長良川大会開催				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	951	30	951	30	1,020	30
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	951	30	951	30	1,020	30

(2)物にかかるコスト

	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)	2,797	2,346	1,992
直接事業費の主な内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目 負担金	2,797	2,346	1,992
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C	2,797	2,346	1,992

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	3,748	3,297	3,012

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	3,748	3,297	3,012

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	各種大会主催団体
受益者数	210	216	207
受益者負担額(千円)	358	354	341
受益者負担率(%)	9.6%	10.7%	11.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	17,848	15,264	14,551

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	実施種目	単位	種目
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	2	2	2
実績値	2	2	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	大会参加者	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	300	300	300
実績値	210	216	207

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民が体を動かす選択肢の一つとして、また、大会開催を通じて岐阜市の魅力を全国へ発信することを目的としている。 一時的ブームが去り、インラインスケートの競技人口は減少 ⇒ ターゲットとなる人口が減り、大会参加者数も減少し、県協会主催で可能な規模となってきたため、2021年度より県協会主催へ移管する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	市民体育課で予算を組んでいる開催負担金の中では、参加者1人あたりの費用は高い。 当初から現在に至るまで協力を得ている県協会に2021年度から主催を移管し、負担金から補助金方式に切り替える。 市負担金を2018年度250万円、2019年度200万円、2020年度150万円と減額しつつ移管を実施できる運営に移行する。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市外、県外からの参加者が多く、岐阜城や長良川を背景に開催される、本大会は岐阜市の魅力を発信している。 スポーツには、ブームもあり、オリンピック種目候補にもなったことがあり、一定の有効性は見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	ロードレース(大人)3,000円 ロードレース(小人)1,500円(高校生以下) インラインホッケー 5,000円(1チーム5人まで)は適正と思われる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	廃止	2020年度の第26回大会を以って実行委員会方式は廃止。 ※2021年度から県インラインスケート協会が主催することにより、補助金事業に替わる予定。市の補助額は25万～40万を見込む。

事業評価シート

番号 0660070 019

【1.基本情報】

事業名	市民スポーツ・レクリエーション活動推進事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	岐阜市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会
実施期間	平成25 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	誰もが気軽に親しむことのできる軽スポーツの啓発・普及促進のための大会、イベントの実施	
事業の内容	春に「スポーツ・レクリエーション祭」(11種目)、9月に「やまなみジョギング・ウォーキング大会」、11月に「健幸エンジョイ・スポーツDAY」を実施する。	
事業の対象	何を	開催負担金
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会、市民、参加者
	どのくらい (具体的 数値で)	開催負担金:1,527,000円(予算額) (「スポーツ・レクリエーション祭」(11種目)、「やまなみジョギング・ウォーキング大会」、「健幸エンジョイ・スポーツDAY」)
令和元年度 (実施内容)	開催負担金:1,527,000円(予算額) (「スポーツ・レクリエーション祭」(11種目)、「やまなみジョギング・ウォーキング大会」、「健幸エンジョイ・スポーツDAY」)	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,585	50	1,585	50	1,700	50
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	1,585	50	1,585	50	1,700	50

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		1,413	1,100	1,317
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	1,413	1,100	1,317
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		1,413	1,100	1,317

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,998	2,685	3,017

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,998	2,685	3,017

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	事業参加者	事業参加者	事業参加者
受益者数	3,348	3,135	3,099
受益者負担額(千円)	968	805	695
受益者負担率(%)	32.3%	30.0%	23.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	895	856	974

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	事業開催回数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3	3	3
実績値	3	2	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3,000	3,000	3,000
実績値	3,348	3,135	3,099

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの大会を実施している。 実行委員会(スポーツ推進委員、スポーツ指導員、各競技団体、岐阜市)で実施している。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	幅広い世代への生涯スポーツ振興に寄与しているため、費用対効果は高い。 現在、各軽スポーツの種目協会の協力のもと、実行委員会の事務局を市が担い運営している。また、やまなみジョギング・ウォーキング大会、健幸エンジョイ・スポーツDAYでは各種ボランティアも活用している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	3,000人を超える参加者があり、誰もが気軽に参加できるイベントである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	幅広い世代の市民が参加できるスポーツイベントである。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	多くの参加者があり、本市のスポーツ振興に寄与しているため、現状維持とするが、更に多くの市民が参加できるよう、イベントの周知方法等の見直しを図る。

事業評価シート

番号 0660070 - 020

【1.基本情報】

事業名	総合型地域スポーツクラブ育成補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	その他	実施主体	各スポーツクラブ
実施期間	平成11年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市総合型地域スポーツクラブ21GIFU補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	「総合型地域スポーツクラブ」を育成し、自立させることを通して、スポーツに親しむ機会を増やし、生涯スポーツの考え方の普及やスポーツ振興を図る。また、世代間交流を進め、地域コミュニティづくりを促進する。				
事業の内容	市内にある「総合型地域スポーツクラブ」の自立のために互いの連携を図り、効率的な組織の在り方や効果的なスポーツ教室の進め方について情報交流を進める。また、クラブ員の獲得に向けた導入事業や新規事業、凝集力を高めるイベントを工夫する。				
事業の対象	何を	総合型地域スポーツクラブ主催の多世代に向けた多様なプログラム(サークル・スポーツ教室等)			
	誰に (対象者・対象者数)	各地域に住む多世代の市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	各クラブで年間10以上のプログラムを提供する。			
令和元年度 (実施内容)	クラブ訪問、スポーツクラブミニッツを含む7クラブ連絡協議会を開催				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,268	40	1,268	40	1,360	40
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	1,268	40	1,268	40	1,360	40

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目				
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		0	0	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,268	1,268	1,360

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,268	1,268	1,360

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者			
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	連絡協議会の開催		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1	1	1
実績値	0	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	設立クラブ		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	6	6	6
実績値	6	6	6

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	世代間交流ができ、地域コミュニティづくりを促進させる手立てとして、住民主体となるスポーツクラブの存在は意味深いものであると考える。 クラブ育成に関して、県も補助事業や既存のスポーツ団体との連携・支援を進めている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現在新たに設立を計画している地域がないため、市からの補助金は出していない。 クラブの自主運営が目標であるため、地域の住民主体の組織が必要である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	積極的に6クラブの地域への貢献ぶりや運営上の課題などを把握し、地域の生涯スポーツの拠点としての役割が果たせるよう支援していく。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	クラブの主な財源は会員からの会費で成り立っており、提供しているサービスに満足してもらえるよう各クラブで工夫して教室やイベントなどを開催している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	6クラブが自主運営できるよう調査研究、及び支援を引き続き行っていく。

事業評価シート

番号 0660070 - 021

【1.基本情報】

事業名	学校体育施設開放事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	開放運営委員会	
実施期間	昭和50年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市立学校等の体育施設の開放に関する規則	

【2.事業概要】

事業の目的	地域住民が気軽にスポーツを楽しみ、体力の向上や健康の増進に繋がることを目的とする。また、地域住民同士の交流の場として活用する事業であり、それに伴う事務手続きを円滑に行うための委託である。				
事業の内容	学校体育施設のスポーツ開放				
事業の対象	何を	学校体育施設開放			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	学校等体育館、運動場、格技場			
令和元年度 (実施内容)	・市内小中学校等体育施設(運動場69校、体育館70校、格技場12校)の夜間開放業務委託 ・県立学校体育施設3校の夜間開放運営業務				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	8,242	260	8,242	260	8,840	260
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	8,242	260	8,242	260	8,840	260

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		65,108	67,408	66,282
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	謝金	40,001	40,187	41,186
	電気料	20,636	20,239	21,099
	照明灯修繕費	1,068	2,103	3,000
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		65,108	67,408	66,282

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	73,350	75,650	75,122

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	20,069	22,272	22,684
その他			
計(F)	20,069	22,272	22,684

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	53,281	53,378	52,438

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	509,217	509,690	482,860
受益者負担額(千円)	20,069	22,272	22,684
受益者負担率(%)	27.4%	29.4%	30.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	105	105	109

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開放施設数	単位	箇所
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	78	78	78
実績値	78	78	78

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	学校等体育施設利用者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	550,000	550,000	550,000
実績値	509,217	509,690	482,860

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	地域住民がスポーツを楽しみ、体力の向上や健康の増進に繋がることを目的とする現状利用率は高い。 岐阜市所管施設のため市で担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	既存の学校施設を使用しているため、維持管理等に費用はあまりかからない。 -
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	老若男女さまざまなスポーツに取り組みスポーツ振興につながっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	利用者には電気代相当分を負担しており学校体育施設開放の特性を考慮すると適正。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	スポーツ振興並びに地域貢献を実施しているため。

事業評価シート

番号 0660070 - 022

【1.基本情報】

事業名	岐阜市レクリエーション普及事業補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市レクリエーション協会
実施期間	令和元 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市レクリエーション事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	2016年に開催した「第70回全国レクリエーション大会in岐阜」の成果を一過性のものとせず、各種団体と協力してレクリエーションの普及・拡大を図り、もって市民の健康づくりや生きがいに寄与する。				
事業の内容	岐阜市レクリエーション協会が、岐阜市のスポーツ・レクリエーション団体、教育・福祉施設など、レクリエーションに携わる個人・団体を統括するネットワークの会として、各種目大会や教室を開催し、健康の保持増進のアドバイス、スポーツ・レクリエーション啓発を行う事業の一部を補助する。				
事業の対象	何を	補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市レクリエーション協会			
	どのくらい (具体的 数値で)	1,000,000円			
令和元年度 (実施内容)	補助金1,000,000円				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		340	10
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	340	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
				1,000
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金			1,000
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		0	0	1,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	0	0	1,340

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	0	0	1,340

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者			参加者
受益者数			5,682
受益者負担額(千円)			920
受益者負担率(%)			68.7%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			236

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	レクリエーション教室・種目大会開催回数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値			100
実績値			120

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値			13,000
実績値			30,357

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	障がいの有無や世代を問わず、幅広い市民の生きがいづくり及び健康づくり等に寄与するレクリエーションの普及が図られている。 協会の自主財源のみで行う事業だけでなく、市の補助があることで、開催回数や広報等、更に充実させることができる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	協会独自で取り組んできたレクリエーション大会や教室に、本事業により新たな種目や団体が加わることで、より多くの市民がレクリエーションに参加することができる。 レクリエーションを幅広く普及させるためには、レクリエーション活動普及のノウハウがある市レクリエーション協会の事業費に補助する現方法が効率的と考える。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	本事業により新たに延べ約5,600人の市民が参加し、レクリエーションの体験をすることができた。継続して広報、事業を実施することで、更なる参加者が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	障がいの有無や世代を問わず、幅広い市民を対象に事業が行われているため、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	レクリエーション教室等の開催種目数や開催回数の増加により、普段体を動かす機会の少ない市民等がスポーツ・レクリエーションに触れることができるなど、一定の効果が見られるため、現状維持とする。

事業評価シート

番号 0660070 - 023

【1.基本情報】

事業名	屋外体育施設管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和58 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市屋外体育施設条例	

【2.事業概要】

事業の目的	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する	
事業の内容	島西運動場、則松球場、フィールドかけぼら、諏訪山運動場、岐陽運動場管理運営委託 柳津3施設管理運営	
事業の対象	何を	屋外体育施設
	誰に (対象者・対象者数)	市民
	どのくらい (具体的 数値で)	則松球場、島西運動場、フィールドかけぼら、諏訪山運動場、岐陽運動場、柳津運動場、 高桑運動広場、坂巻運動広場
令和元年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・則松球場、フィールドかけぼら、諏訪山運動場、岐陽運動場を各地域に管理清掃業務委託 ・島西運動場 運営管理業務委託 ・各施設の不良箇所を修繕・工事 ・各施設の樹木管理 	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,170	100	3,400	100
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,170	100	3,400	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		101,443	17,730	23,418
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	工事請負費	82,910	1,774	4,588
	委託料	12,262	13,478	13,092
	需用費	4,863	2,376	4,557
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		101,443	17,730	23,418

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	104,613	20,900	26,818

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	4,536	4,286	4,310
その他	16,000		
計(F)	20,536	4,286	4,310

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	84,077	16,614	22,508

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	174,552	185,911	189,790
受益者負担額(千円)	4,536	4,286	4,310
受益者負担率(%)	4.3%	20.5%	16.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	482	89	119

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	施設数	単位	箇所
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	10	10	10
実績値	10	10	10

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	200,000	200,000	200,000
実績値	174,552	185,911	189,790

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の健康志向や東京オリンピック等でスポーツに関心が高まっている。 管理については、地域が主体的に動いている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	運動場の照明をLEDに変更するなど導入費用はかかるが電気代等を考えると、導入によって得られる効果が極めて高い -
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	大会や、個人など様々なニーズで利用がある
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者には維持管理経費の一部を負担してもらうため適正
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供できている

事業評価シート

番号 0660070 - 024

【1.基本情報】

事業名	屋内体育施設管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成27年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ交流センター条例 岐阜市スポーツ交流センター条例施行規則	

【2.事業概要】

事業の目的	スポーツにより市民の心身の健康を保持増進し、スポーツを通じた市民の交流を促進する	
事業の内容	岐阜市スポーツ交流センターの管理運営	
事業の対象	何を	屋内体育施設
	誰に (対象者・対象者数)	市民
	どのくらい (具体的 数値で)	岐阜市スポーツ交流センター
令和元年度 (実施内容)	施設の管理運営	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0	0	0	0	0	0
嘱託職員	9,579	930	9,579	930	9,672	930
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	9,579	930	9,579	930	9,672	930

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		0	0	0
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料	1,670	4,317	4,384
	工事請負費	0	0	20,562
	需用費	0	0	0
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		0	0	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	9,579	9,579	9,672

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	1,814	3,152	1,167
その他	432	77	429
計(F)	2,246	3,229	1,596

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	7,333	6,350	8,076

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	420,000	420,000	420,000
受益者負担額(千円)	1,223	1,814	3,152
受益者負担率(%)	12.8%	18.9%	32.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	17	15	19

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	10,000	15,000	15,000
実績値	16,812	16,607	11,537

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	施設使用料	単位	円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1,814,000	1,223,000	1,752,000
実績値	1,814,160	1,566,000	1,167,000

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	生活習慣病の予防の観点からも、スポーツ施設の需要は高まっている。 同施設の一部をFC岐阜が利用することから、指定管理施設として委託することは現時点では困難である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現時点では、直営による運営が最善であると判断している。 -
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	トレーニング機器が充実しており、さらなる利用者の増加が見込めそうである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	妥当である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域の人々が集まる場としての双方からの需要があることから現状維持が望ましいと判断する。

事業評価シート

番号 0660070 - 025

【1.基本情報】

事業名	屋内体育施設管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※		実施主体	ぎふ南スポーツコミュニティ (公財)岐阜市教育文化振興事業団 (株)技研サービス
実施期間	平成29年度～	令和3年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市体育館条例、岐阜市プール条例	

【2.事業概要】

事業の目的	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する				
事業の内容	屋内体育施設の整備、管理及び工事他				
事業の対象	何を	屋内体育施設			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	体育館10館(H28年度までもえぎの里多目的体育館のみ直営)、市民プール3箇所			
令和元年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> 市内体育館、プールを指定管理、もえぎの里トレーニングルーム管理業務委託 市内体育館、プールを工事・修繕、備品の補充 スポーツ教室・体育館デー 				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,170	100	3,400	100
嘱託職員	8,034	780	8,034	780	8,112	780
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	11,204	880	11,204	880	11,512	880

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		395,000	377,207	351,705
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料	287,489	272,832	277,238
	工事請負費	89,300	104,375	74,467
	需用費	11,660	0	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		395,000	377,207	351,705

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	406,204	388,411	363,217

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	46,160	46,235	45,060
その他	25,762	24,322	24,017
計(F)	71,922	70,557	69,077

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	334,282	317,854	294,140

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	696,275	681,270	610,000
受益者負担額(千円)	46,160	46,235	45,060
受益者負担率(%)	11.4%	11.9%	12.4%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	480	467	482

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	650,000	700,000	700,000
実績値	630,000	681,270	610,000

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	稼働率	単位	%
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	90	90	90
実績値	90.94	88.25	84.40

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	生活習慣病の予防の観点からも、スポーツ施設の需要は高まっている。 民間のノウハウを取り入れた運営の方が利用者のニーズに合っている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現時点では、指定管理による運営が最善であると判断している。 -
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込みか) ※【2】【7】から	中	民間のスキルを取り入れた事業計画の提案があり将来的に効果が見込めそうである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	妥当である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域の人々が集まる場としての双方からの需要があることから現状維持が望ましいと判断する。

事業評価シート

番号 0660070 - 026

【1.基本情報】

事業名	岐阜市公共施設予約システム事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成11年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市公共施設予約システム利用に関する規則	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が主体的にスポーツ活動に取り組むためには、スポーツに関する様々な情報を容易に入手できる環境が整備されていることが望ましい。スポーツ施設の利用に関する情報の入手場所が限定されていたり、あるいは入手の手続きが煩雑であるといった問題を解決する必要がある。	
事業の内容	市内の有料スポーツ施設(屋内外)を、インターネット・携帯電話で利用申請できるシステムの運用。	
事業の対象	何を	スポーツ施設予約システム
	誰に (対象者・対象者数)	市民
	どのくらい (具体的 数値で)	インターネット・携帯電話での申請を提供する。
令和元年度 (実施内容)	市内の有料スポーツ施設(体育館10箇所、野球場3箇所、テニスコート8箇所、サッカー・ラグビー場2箇所、多目的運動場6箇所、スポーツ交流センター)をインターネット利用し、パソコン・携帯電話から予約可能とした。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,170	100	3,400	100
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,170	100	3,400	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		4,598	4,386	4,388
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	管理運用業務委託料	4,079	3,864	3,864
	事務処理委託料	256	259	261
	事務機器借上料	263	263	263
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		4,598	4,386	4,388

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	7,768	7,556	7,788

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	7,768	7,556	7,788

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	395	333	327
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	19,666	22,691	23,817

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者カード登録累計数	単位	枚
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	10,000	10,500	11,000
実績値	10,036	10,369	10,696

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	施設利用者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	800,000	800,000	800,000
実績値	897,238	807,531	781,234

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民が自宅に居ながら自由な時間に積極的にスポーツ施設を予約する事ができる。 施設使用料が口座引き落としのため収入金額の管理が容易である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民が計画的に施設を活用する事ができる。 申請書を手取できる場所が限られているため利用者に不便をかけている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	毎年、新たなシステム登録数は増えていないが施設利用者数は増えている事から何度も利用される方が増えていると思われる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	利用者カードを作成する費用は掛からないが、抽選予約のため休日は予約が取れないとの意見もいただく。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	市民のスポーツ施設を気軽に活用する方法として、一定の成果があり、今後も維持管理が必要。

事業評価シート

番号 0660070 - 027

【1.基本情報】

事業名	屋外体育施設管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐南町	
実施期間	昭和58 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市屋外体育施設条例	

【2.事業概要】

事業の目的	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する	
事業の内容	厚八運動場、厚八テニスコート指定管理	
事業の対象	何を	屋外体育施設
	誰に (対象者・対象者数)	市民
	どのくらい (具体的 数値で)	厚八運動場、厚八テニスコート
令和元年度 (実施内容)	厚八運動場、厚八テニスコートを岐南町へ指定管理 施設・設備の維持管理	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,170	100	3,400	100
嘱託職員	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,170	100	3,170	100	3,400	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		2,218	2,218	2,239
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料	2,218	2,218	2,239
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		2,218	2,218	2,239

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	5,388	5,388	5,639

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	5,388	5,388	5,639

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	20,559	27,182	23,863
受益者負担額(千円)	394	284	272
受益者負担率(%)	7.3%	5.3%	4.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	262	198	236

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	25,000	25,000	25,000
実績値	20,559	27,182	23,863

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用料収入	単位	円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	300,000	300,000	300,000
実績値	394,010	283,850	271,920

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	生活習慣病の予防の観点からも、スポーツ施設の需要は高まっている。 敷地内は岐阜市と岐南町の土地が混在している
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現時点では、指定管理による運営が最善であると判断している。 -
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	大会や、個人など様々なニーズで利用がある
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者には維持管理経費の一部を負担してもらうため適正
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供できている

事業評価シート

番号 0660070 - 028

【1.基本情報】

事業名	岐阜市ゴールデンジュニアスポーツプラン				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐阜市スポーツ協会	
実施期間	平成14年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	市内小中学生を対象に、市内にある体育施設等を利用して、優れた指導者の下で競技人口の拡大と競技力の向上を目指す。また、「東京オリンピック・パラリンピック ターゲットエイジ事業」の一環としても本事業を位置付ける。	
事業の内容	ジュニアスポーツクラブは、卓球・バドミントン・ソフトテニス・陸上・柔道・体操・剣道・サッカーの8競技のクラブ活動及び、社会人野球チームによる中学生対象の野球教室を実施する。 アビリティアップクラブは、ホッケー・自転車・レスリング・相撲・ビームライフル・硬式テニスの6競技のクラブ活動を実施する。	
事業の対象	何を	小中学生が参加するスポーツクラブを開催する。
	誰に (対象者・対象者数)	受講を希望する市内小中学生(募集学年は競技によって異なる)
	どのくらい (具体的 数値で)	ジュニアスポーツクラブは年間15回(野球のみ5回) アビリティアップクラブは年間35回
令和元年度 (実施内容)	ジュニアスポーツクラブは、6月から3月にかけて計9競技を実施し、1,208名が受講した。 アビリティアップクラブは、6月から3月にかけて計6競技実施し、60名が受講した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	2,219	70	2,219	70	2,380	70
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	2,219	70	2,219	70	2,380	70

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		6,128	6,001	5,787
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	謝金	4,700	4,535	4,565
	備品	494	816	437
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		6,128	6,001	5,787

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	8,347	8,220	8,167

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	855	891	858
計(F)	855	891	858

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	7,492	7,329	7,309

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	各競技受講者	各競技受講者	各競技受講者
受益者数	1,176	1,101	1,268
受益者負担額(千円)	855	891	858
受益者負担率(%)	10.2%	10.8%	10.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,371	6,657	5,764

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	競技数	単位	競技
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	16	15	15
実績値	16	15	15

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1,000	1,000	1,000
実績値	1,176	1,101	1,268

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	例年、定員を大幅に超える申込があるほどニーズが高く、広くスポーツの振興、普及に寄与している。 市内の全小中学生にチラシを配布しているため、岐阜市に縁のある者が行うべきと考えられ、岐阜市が取り組むのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	アビリティアップは無料、ジュニアスポーツは1000円と市内小中学生の誰もが参加できる教室となっている。 市内の小中学生を対象としているためすべてを民間化にすることは難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	この事業をきっかけに、現在、トップレベル(東京オリンピック代表候補、世界選手権、ジュニアワールドカップ等)で活躍する選手がいる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	15回で1000円は安いという声もあることから、今後金額を検討していく必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	各種目競技者の裾野の拡大及び競技力の向上に役立っているため。